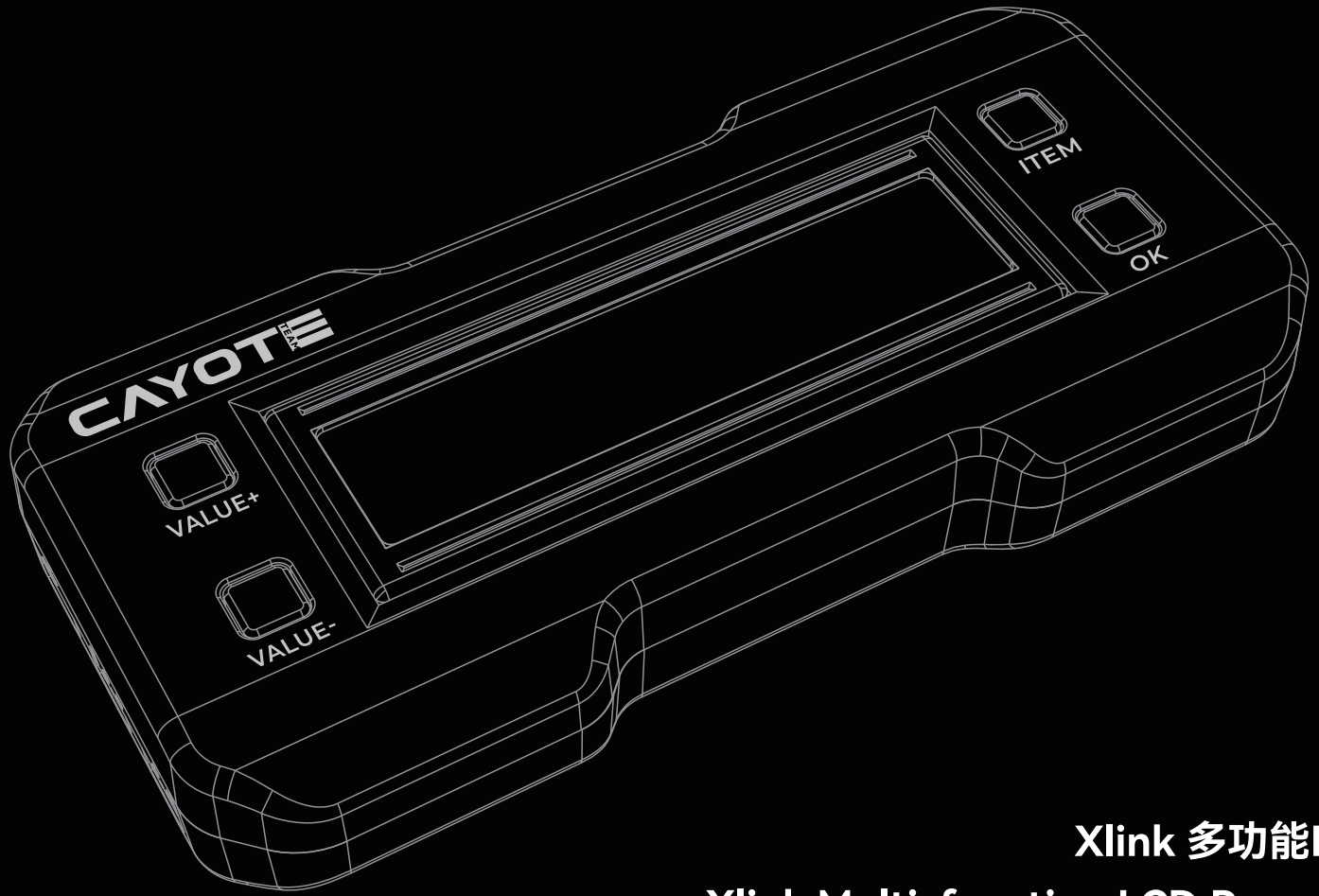


Xlink

Xlink 多功能LCD编程盒使用说明书

Xlink Multi-function LCD Program Box User Manual

CAYOTE TEAM

目　次

01-製品の特長－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－04
02-仕様－－－05
03-用途－－－05
04-ボタンとインターフェース－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－06
05-動作モードの説明－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－08
06プログラミングボックスのファームウェア更新－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－14

01 製品の特長

1.直感的で分かりやすい操作画面を備えた完全独立型

高解像度LCD画面を搭載し、ESCのパラメータを独自に表示するほか、インターフェースを介した直接的なパラメータ設定にも対応しており、便利で直感的な操作が可能です。

2.小型・軽量で持ち運びやすく、フィールドチューニングに最適

軽量かつコンパクトな設計で持ち運びが容易であり、フィールドチューニングに最適です。RCドライバーにとって理想的なツールです。

3. 柔軟なアップグレードを実現する2つの接続モード

2つの接続方法に対応しています：

- プログラムボックスを介してESCに直接接続し、パラメータを素早く調整；
- PCアプリケーション「Cayote Data Link」に接続し、詳細なパラメータ設定

およびファームウェアのアップグレードを行い、効率的かつ多機能な操作を実現します。

4. 安全性を高めるバッテリー電圧モニタリング

LiPo/Li-Ion/LiFeバッテリーパックの総電圧および各セルの電圧をリアルタイムで監視し、ユーザーがバッテリーの状態を正確に把握して、安全な運用を確保できるよう支援します。

02 仕様

外形寸法: 115 (L) * 55 (W) * 18.5 (H) mm

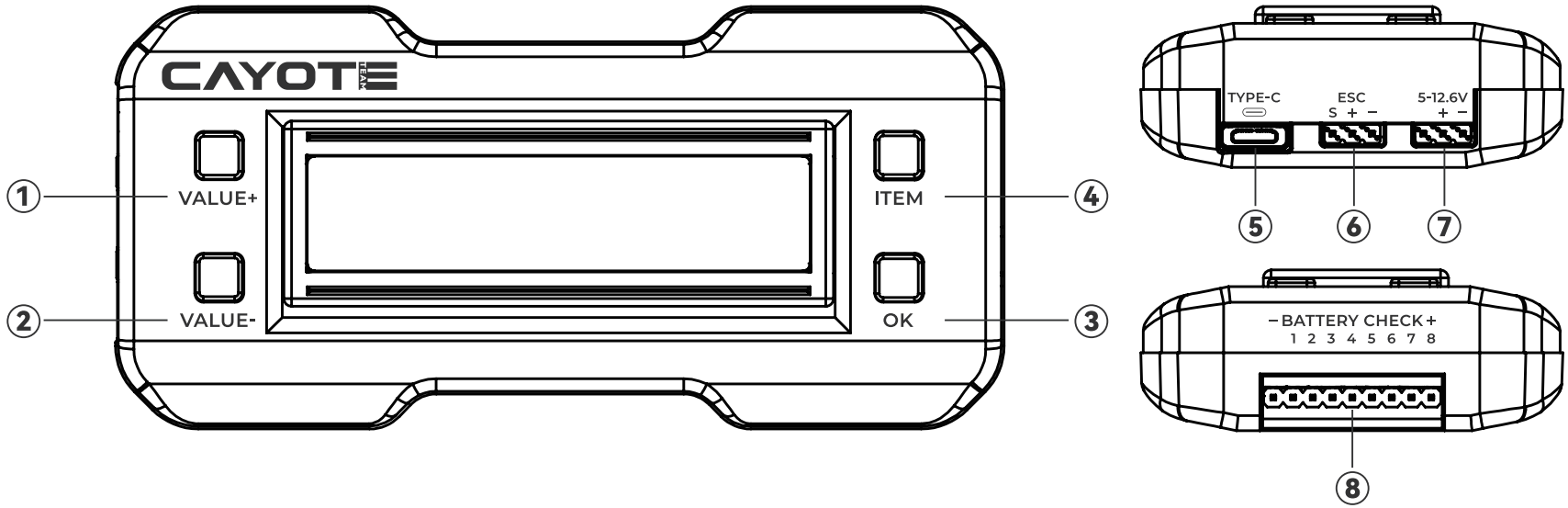
重量: 73.5g

入力電源: DC 5～12.6V

03 対応機種

CAYOTE製ブラシレスESC

04 ボタンおよびインターフェース



ボタン機能

① VALUE+
- 短押しでパラメータ値を正方向に切り替えます。
- 長押しで高速切り替えになります。

② VALUE-
- 短押しでパラメータ値を逆方向に切り替えます。
- 長押しで高速切り替えになります。

③ **OK**
- 現在のパラメータを保存してESCに送信します。
- パラメータの設定状態に入ります。

④ **ITEM**
- 短押しで項目を切り替えます。
- 長押しで高速切り替えになります。
- 設定状態から抜けるときにも使用します。
- 組合せ（VALUE+ ＋ ITEM）：一つ上のメニュー階層に戻ります。

インターフェース機能

⑤ **TYPE-C**
- PCに接続し、ソフトを使用してパラメータ調整やファームウェアのアップグレードを行います。

⑥ **ESC**
- 接続用ケーブルを使ってESCと接続します（ESCのモデルによってケーブルが異なる場合があります）。

⑦ **5-12.6V Power Input**
- ESCの書き換えポートから電源が供給されない場合、ここに外部電源を接続します。

⑧ **BATTERY CHECK**
- LiPo/Li-Ion/LiFeバッテリーパックの総電圧および各セルの電圧を測定します。

- 重要事項:
- バランスプラグを接続する際は、極性を正しく合わせてください。
- ピン間隔は2.54mmです。誤った向きで差し込むと、機器が破損する恐れがあります。

05 動作モードの説明

1 単体デバイスとしてESCのパラメータを調整する

ステップ1：ESCにBECが内蔵されているか、および専用のプログラミングポートがあるかを確認します。

ESCとプログラミングボックスを接続する適切な方法を選択してください。

1) ESCのプログラミング用配線がスロットル用配線と共用されており、かつスロットル用配線からBEC出力が出ている場合：

- ESCのスロットル用ケーブルを受信機から外し、プログラミングボックスの「ESC」ポートに接続します。

2) ESCに電圧出力付きの専用プログラミングポートがある場合：

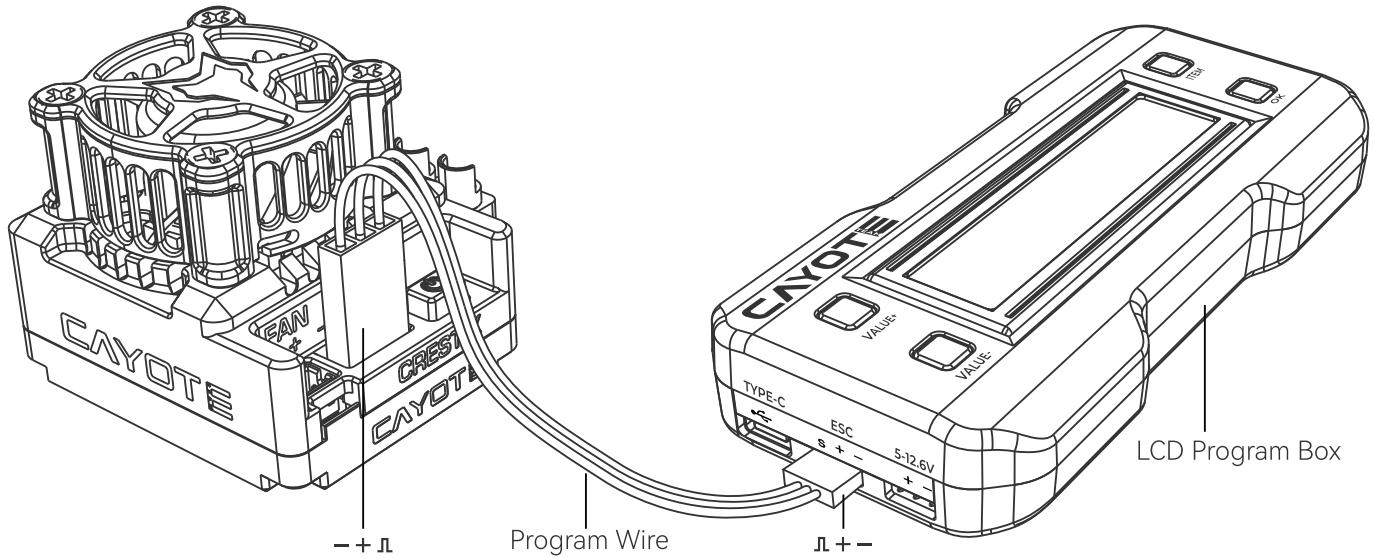
- プログラミングケーブルを使用して、ESCのプログラミングポートとプログラミングボックスの「ESC」ポートを接続します。

3) ESCのプログラミングポートから電圧出力がない場合：

- プログラミング用配線がスロットル用配線と共用されている場合は、スロットル用ケーブルをプログラミングボックスの「ESC」ポートに接続します。
- ESCに専用のプログラミングポートがある場合は、それをプログラミングボックスの「ESC」ポートに接続します。

プログラミングボックス。

- 注：この場合、動作させるにはプログラミングボックスに5～12.6Vの外部電源を接続する必要があります。



ステップ2：ESCをバッテリーに接続し、ESCの電源スイッチをオンにします（スイッチがある場合）。

- プログラミングボックスに起動画面が表示されます。プログラミングボックスのいずれかのボタンを押すと、ESCとの通信が開始されます。
- 画面に数秒間「Connecting ESC Please Wait（ESCに接続中、お待ちください）」と表示された後、現在のソフトウェアバージョン、現在のモード、そして最後に最初の設定可能パラメータが表示されます。

- 「ITEM」および「VALUE」ボタンを使用して、パラメータの選択や変更を行います。「OK」ボタンを押すと、変更内容がESCに保存されます。
1) 工場出荷時設定への復元
- プログラミングボックスを使用して、すべてのESCパラメータを工場出荷時の設定にリセットします。
- ESCに接続した状態で、「ITEM」ボタンを押して最後の項目まで進み、「Restore Default」を表示させます。
- 「OK」ボタンを押すと、現在のモードにおけるすべてのパラメータがデフォルト値にリセットされます。
2) プリセットモード
- ESCに複数のプリセットモードが搭載されている場合（対応状況についてはESCの取扱説明書を参照）、各モードは特定の用途に合わせて最適化されています（例：レース用の「Zero Timing」、競技用の「TC-Modify」など）。ユーザーは各モードのパラメータを事前に設定しておき、走行場所やモーターを変更する際に、それらを簡単に切り替えることができます。
- モードの切り替え方法：
- 「ITEM」ボタンを押して最後の項目まで進み、現在のモード名を表示させます。
- 「VALUE」ボタンを押して、利用可能なモードを順に切り替えます。
- 選択したモードのパラメータを変更する場合は、「OK」ボタンを押して確定した後、必要に応じて設定を調整します。

2 PCに接続して設定・アップデートを行う

PC接続ガイド

1. 機器の接続

- 図に従って、ESC、プログラミングボックス、およびPC間の配線を行います。
- バッテリーをESCに正しく接続します。
- ESCの電源スイッチをオンにします（スイッチが装備されている場合）。

2. ソフトウェアの操作

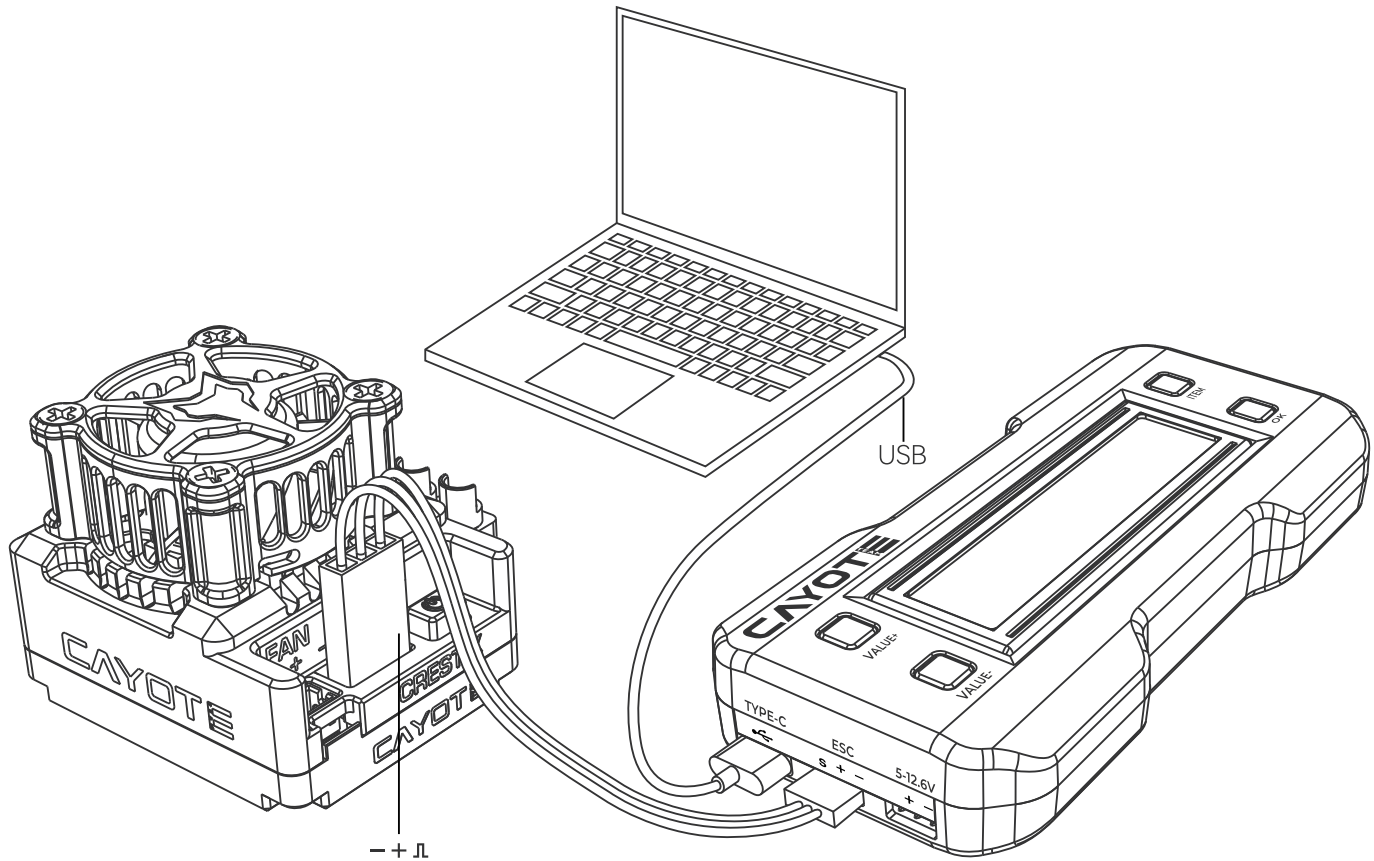
- PCで「Cayote Data Link」アプリケーションを起動します。
- システムが自動的にESCとの通信を確立します。

3. 機能の利用

- アプリケーションのインターフェースから、以下の操作が可能です。
    - ✓ ESCのパラメータ設定
    - ✓ ESCのファームウェア更新

注：以下の接続状態を確認してください。

- すべてのインターフェースが確実に接続されていること。
- バッテリー電圧が正常な動作範囲内にあること。
- アプリケーションが最新バージョンに更新されていること。



3 バッテリー電圧チェック

- 測定範囲：2～8S LiPo / Li-Ion / LiFe

- 測定精度：±0.1V

- 使用方法：

- バッテリーバランスプラグをプログラミングボックスの「BATTERY CHECK」ポートに差し込みます。
（バランスプラグのマイナス端子がプログラミングボックスのマイナスマークに合うようにしてください。）

- 接続後、画面にまずプログラミングボックスのバージョンが表示され、その後、バッテリー全体の電圧と各セルの電圧が順に表示されます。

⚠注意：

- バッテリー電圧を測定する際は、バランスプラグのみを使用してプログラミングボックスに電源を供給してください。
- デバイスの損傷を防ぐため、BECまたはUSB-C電源を同時に接続しないでください。

06 プログラミングボックスのファームウェア更新

ESCの機能は継続的に更新されるため、プログラミングボックスのファームウェアも更新が必要になる場合があります。以下の手順に従って更新してください。

1. プログラミングボックスをUSBケーブルでコンピューターに接続します。
2. Cayote Data Linkアプリケーションを起動します。
3. 「デバイス」で「Xlink Programming Box」を選択します。
4. 「ファームウェアの更新」セクションで、最新のファームウェアバージョンを選択し、「アップグレード」をクリックします。

（更新中は、電源と接続が安定していることを確認してください。）

Xlink

CAYOT TEAM